

令和3年第6回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

12月13日・12月14日・12月15日

質問順位

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 横路政之 | 2. 政野太 |
| 3. 宇江田豊彦 | 4. 國利知史 |
| 5. 吉川遂也 | 6. 坪田朋人 |
| 7. 徳永泰臣 | 8. 前田智永 |
| 9. 福山権二 | 10. 谷口隆明 |
| 11. 藤原洋二 | 12. 林高正 |
| 13. 藤木百合子 | 14. 赤木忠徳 |
| 15. 五島誠 | 16. 松本みのり |

庄原市議会

令和3年12月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	横路 政之	地域気象防災支援のための気象庁等による取り組みについて	1
		指定ごみ袋を活用したごみの減量化について	2
		子どもに対する虐待・DV対応について	3
2	政野 太	本市の持続可能な農業振興について	4
		本市の特産品づくりについて	5
		地域とともに歩む本市の教育振興について	6
		本市の観光施設の在り方について	
3	宇江田 豊彦	学校における働き方改革取組方針について	7
		職員の安全衛生推進について	8
4	國利 知史	アフターコロナを見据えた本市の観光施策について	9
		本市におけるドローンの活用について	10
5	吉川 遂也	鳥獣被害防止対策及び庄原ジビエの積極的なPRについて	12
6	坪田 朋人	庄原市の学校教育における教育振興について	15
		庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画について	16
7	徳永 泰臣	地域生活交通について	17
		JR芸備線の利用促進について	18
		市役所本庁舎前駐車場について	19
8	前田 智永	いざなみカード(愛称なみか)の活用促進について	20
		庄原市役所西城支所の耐震改修促進計画について	21
9	福山 権二	公共交通について	22
10	谷口 隆明	2050年二酸化炭素排出ゼロを目指して、地方公共団体実行計画の策定を	23
		市長は、インボイス制度の導入中止の先頭に	24
		この冬の緊急生活・経済独自支援について	
11	藤原 洋二	令和4年度の予算編成と執行体制等について	25
12	林 高正	本市の脱炭素化に向けた取組について	27
		Ma a Sに対する本市の取組について	
13	藤木 百合子	永末保育所、永末小学校の今後の対応について	28
		18歳まで国民健康保険税の「均等割」10割軽減を	29
		18歳まで医療費助成の拡充を	
14	赤木 忠徳	県内外で庄原市に貢献した人を名誉市民に	30
15	五島 誠	特定地域づくり事業協同組合制度について	32
		本市の情報化、デジタル化について	
		学校運営協議会制度について	
		アウトドア施設活用促進事業について	33
16	松本 みのり	市内小中学校の学校給食における庄原産食材使用割合を増やす取り組みについて	34
		多様性や違いを認め合える社会と、自ら判断し、主体的に行動できる人を育てる生徒指導規程のあり方について	

一般質問日程

12月13日(月) 横路政之・政野太・宇江田豊彦・國利知史・吉川遂也

12月14日(火) 坪田朋人・徳永泰臣・前田智永・福山権二・谷口隆明・藤原洋二

12月15日(水) 林高正・藤木百合子・赤木忠徳・五島誠・松本みのり

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 地域気象防災支援のための気象庁等による取り組みについて	<p>気象庁では、地域防災支援の取り組みとして、地域ごとの災害特性を踏まえた人材配置による「担当チーム」を各気象台に編成し、「各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築する」とされている。</p> <p>具体的な取り組みとして、平常時には、気象防災ワークショップなどの開催や、防災気象情報の地域ごとの活用についての共有などが行われ、災害時には、早い段階からの記者会見などを実施し見通しを伝えるとともに、ホットラインによる首長への助言や気象庁防災対応支援チームの派遣等も行っている。</p> <p>(1) これらを踏まえて、本市と広島地方気象台との連携状況を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 防災気象情報の受け手である市町村にも気象防災業務の専門家を育成していくことが大切である。</p> <p>内閣府、消防庁等においては地方公共団体の防災業務を担当する職員を対象とした研修や訓練を定期的実施しており、これらの研修等において、最新の気象行政の動向や防災気象情報に実践的な利活用方法等についても情報共有している。</p> <p>このような研修や訓練について、本市の参加状況について伺う。</p>		市長	

順位	1	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 指定ごみ袋を 活用したごみ の減量化につ いて	<p>国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（COP26）が開催され、地球規模で起こっている温暖化対策が議論された。</p> <p>日本も「わが国としても引き続き 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを強力に推進し、パリ協定の目標である脱炭素社会の実現に向け、国際社会を主導していく考えだ」と表明している。</p> <p>SDGs においても、同様の目標を定めており、本市においても、できることから実践していくべきと考える。</p> <p>本市での取り組みとして、指定ごみ袋に、1 袋の処理にかかる費用を印刷することで、ごみの減量に対する市民意識の向上を図り、ごみの更なる減量化に取り組んでみるべきと考えるがどうか。</p>		市長

順位	1	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 子どもに対する虐待・DV対応について	<p>約2年余りに及ぶコロナ禍の自粛期間において、ストレスの増加や一斉休校で子どもの在宅時間が増えたことで、全国的に虐待・DVが増加傾向にあるとの報道を聞く。</p> <p>虐待については、相談窓口（児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」）やDV相談ナビ「#8008（はれれば）」などがあるが、利用者の声として「電話はしづらい」「電話は家族がいるとしづらい」との声もある。</p> <p>このような状況の解消に向けて、一番身近な連絡手段としてのコミュニケーションアプリ「LINE」を利用して相談体制を実施している自治体もある。</p> <p>子どもに対する虐待やDVに関する本市における状況と今後の対応について伺う。</p> <p>（1）コロナ禍の状況により、虐待・DVの現状はどうなっているか。</p> <hr/> <p>（2）電話での相談がしづらいという方の状況を解消するため、LINEを利用した相談体制を実施してはどうか。</p>		市長

順位	2	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市の持続可能な農業振興について	<p>(1) 2年に渡る新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の制限と緩和が繰り返される中、物価上昇、原油価格の高騰が市民の生活を直撃している。</p> <p>さらには異常気象の常態化、中国などの畜産需要増加による飼料高騰は本市の畜産業界にとって深刻な状況となっている。</p> <p>この状況について、本市の畜産業に与える影響をどのように把握し、どのように考えているのか、市長の見解を伺う。</p>		市長
	<p>(2) 持続可能な畜産経営を目指すには、国内での飼料調達、自給飼料の確保が重要であると認識している。</p> <p>自給飼料確保の取り組みは、本市の課題でもある、耕作放棄地の有効活用、あるいは二毛作による農家収入の増加にも効果のある方策であると考えます。</p> <p>そのような仕組みづくりを行政が推進すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>		

順位	2	質問者	政野 太	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. 本市の特産品 づくりについて	<p>(1) 本市はこれまで、庄原市北部資源活用計画「比婆いざなみ街道物語」による特産品開発、庄原いちばん基本計画による庄原市の逸品づくり事業の推進、また、しょうばら産学官連携推進機構による商品開発など、様々な施策で特産品の開発に取り組んできた。</p> <p>これらの事業について、商品開発から消費者のもとに届けるまでの流通、販売促進に課題があると考えますが、現状と課題について市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 県内の特産品については、昨年、東京にあるアンテナショップひろしまブランドショップT A Uが、人気店第1位となるほどの脚光をあびている。</p> <p>販売促進については、本市の特産品を取りまとめ、広島市内にある、ひろしま夢プラザや東京銀座のT A Uへの出品を促進する仕組みづくりを図るべきと考えますが、市長の見解を伺う。</p>		市長	

順位	2	質問者	政野 太	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
3. 地域とともに歩む本市の教育振興について	<p>(1) 令和2年度より、庄原中学校ならびに東城中学校に設置された学校運営協議会は、今年度末で2年の試行期間を終えようとしている。</p> <p>現段階で、学校運営協議会の必要性に関してどのように認識をし、どのように評価しているのか、また来年度以降、現在設置されている学校運営協議会を継続されるのか、教育長の見解を伺う。</p> <p>(2) 現代の子どもたちを取り巻く環境、また学校が抱える課題は年々複雑・多様化しており、課題への対応は、学校や保護者のみならず、地域社会との協働による取り組みが重要であると認識している。学校運営協議会は、その役割を担うために重要なツールであり、市内の全小中学校に設置すべきと考えるが、教育長の見解を伺う。</p>		教育長	
4. 本市の観光施設の在り方について	<p>道の駅遊YOUさろん東城は、開業して30年が経過しようとしており、施設の老朽化による改修が必要な時期にきていると認識している。</p> <p>特に屋外に設置してあるトイレは、多くの利用者から苦情が出ていると聞く。</p> <p>隣接する東城きんさい市と本施設との機能分けによる利便性の改善と合わせ、駐車スペースを含めた施設全体の今後の大規模改修の考え方について市長の見解を伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 学校における働き方改革取組方針について	<p>(1) 教育条件整備の中でも、最も大切にしなければならないものは、教職員が健康で安心して児童・生徒に向かい合うことであり、教育長におかれても、これまでの度重なる一般質問での答弁で同様の見解を述べられている。</p> <p>現在、市はこれまでの本市教職員の勤務実態を踏まえつつ、文部科学省が示した「公立学校の教師の勤務時間に関するガイドライン」や広島県教育委員会が示した「学校における働き方改革取組方針」を参考として、2019年5月「学校における働き方改革取組方針」を策定し、実態把握と改善目標を定め取り組みを進めようとしている。</p> <p>しかし、本市小中学校における教職員の勤務実態は依然として厳しい状況であり、深刻で喫緊な課題として捉えなければならないと考える。</p> <p>社会経済の変化により、今日の学校を取り巻く環境は大きく変化しており、これまで以上に変化に対応できる力を子どもたちにつけることが求められており、教職員に求められる役割は拡大するばかりである。</p> <p>このような現状のなかで、庄原市教育委員会策定の「学校における働き方改革取組方針」が機能し、学校現場における勤務実態が改善しているのか伺う。</p>		教育長

順位	3	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 学校における働き方改革取組方針について	<p>(2)「学校における働き方改革取組方針」に示している、正規の勤務時間を除いた時間の上限である「1か月について45時間以下」の中に在校時間を収めたとしても、教職員が自宅に仕事を持ち帰ることになれば、働き方は改善されないどころか、問題の潜在化を招く恐れもある。</p> <p>そこで「持ち帰り仕事」の実態について、どのように把握をされ対策をされているのか伺う。</p>		教育長
2. 職員の安全衛生推進について	<p>今日、市民ニーズが多様化、複雑化するなか、迅速に対応すべく職員力を発揮することが求められている。</p> <p>しかし、昨今、頻発する豪雨災害や新型コロナウイルス感染症対策など、急を要する取り組みが通常業務と重なり、職員の勤務体制や休暇、労働安全衛生等に大きな影響を生じさせていることが懸念される。</p> <p>このような実態のなか、オーバーワークによる精神疾患等が原因の休職者や定年前退職者が出ていないのか心配となる。</p> <p>職員の長期休職や早期退職の実態と対策について伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	國利 知史	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. アフターコロナを見据えた本市の観光施策について	<p>(1) 令和2年1月から約2年間続くコロナ禍によってさまざまな業界が多大な影響を受けている。</p> <p>庄原市の観光客数は、平成27年の287万人をピークに、平成30年264万人、令和元年256万人、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年には172万人となっている。</p> <p>ワクチン接種が進んだこともあり、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せているが、アフターコロナを見据えた本市の観光施策について市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 本市が取得を決めた「桜花の郷 ラ・フォーレ庄原」はアフターコロナにおける本市の観光には必要不可欠な施設と言える。</p> <p>これまでも、この施設は、本市のランドマーク的な存在であり、これからも本市を代表する観光スポットにしていかなくてはならない。</p> <p>今後は日本郵政の規制がなくなり、運営上の自由度が増す中で、広大な敷地を有する当施設の周辺環境整備等はどのように行うのか計画を伺う。</p>		市長	

順位	4	質問者	國利 知史
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. アフターコロナを見据えた本市の観光施策について	<p>(3) コロナ禍で3密を避けることが日常化している昨今、屋外で楽しめるアウトドアの人気の高まっている。</p> <p>本市は、市域の約84%に及ぶ広大な森林を有し、里山の風景も多く残っていることから、今後の観光を考える上で、アウトドアによる観光を強化していくべきと考えるが見解を伺う。</p>		市長
	<p>(4) 新型コロナウイルス感染症の影響で、マイクロツーリズムの需要が高まっているが、アフターコロナにおいては、従来の遠方からの観光客を取り組むことも重要となってくる。</p> <p>激減している県外や海外からの観光客を受け入れるための方策について伺う。</p>		
2. 本市におけるドローンの活用について	<p>(1) 本市では平成28年度、国の補助金を利用して、汎用ドローン5台、産業用ドローン2台、小型ドローン10台を購入し、ドローン活用啓発セミナーやドローン操縦技術講習会などを実施している。</p> <p>その後、平成29年度と平成30年度では、一般財源でドローン技術の活用による市内産業の生産性向上を目指してきた。</p> <p>そこで、本市におけるこれまでのドローンの活用実績やドローン導入による効果、今後の計画について伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	國利 知史
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 本市における ドローンの活用 について	<p>(2) 2022 年よりドローン飛行は免許制となる見込みであるが、免許制となった場合、市職員による免許取得は考えているか。</p> <p>また、近年のドローン技術の進化に伴い新機種への機体の更新やメンテナンス及び修繕費などの維持費等の予算は考えているか伺う。</p> <hr/> <p>(3) 近年、農業の現場ではスマート農業がしきりに言われるようになり、ドローンによる薬剤散布や生育状況の把握など、ICTを活用して農作業や栽培計画の効率化が行われている。</p> <p>一方、住民や農家を悩ますイノシシやシカなどの害獣被害は深刻さを増している。</p> <p>そこで、ドローンは害獣対策にも効果的と思われるが、ドローンを活用した害獣対策を行う計画はあるか伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	吉川 遂也
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 鳥獣被害防止 対策及び庄原 ジビエの積極 的なPRにつ いて	<p>(1) 今年の収穫期を終え、農家の方と話をするたび「イノシシにやられた。もう作付けをやめようと思う」という声を頻繁に聞く。 近年のイノシシ等の鳥獣害被害状況や推移をどのように把握し、また、分析されているか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 庄原市鳥獣被害防止計画では、従来講じてきた被害防止対策の課題の一つとして「猟友会員で編成する捕獲班の高齢化が進み、捕獲班の活動の継続が困難になる可能性が高く、捕獲者の育成・確保が喫緊の課題」としている。また、今後の取組方針の中では、「捕獲業務を委託している各地域捕獲班員の高齢化を考慮し、現行の組織体制の維持もしくは、体制の再編を含めた協議を実施する。」とあるが、具体的な対応策の検討をどのように進めているか伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	吉川 遂也	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 鳥獣被害防止 対策及び庄原 ジビエの積極 的なPRにつ いて	<p>(3) 近年イノシシの捕獲頭数は増えていると考えるが、被害の軽減に直接つながっていないように思える。</p> <p>専門家の研究がNHKで取り上げられ「近年イノシシが、高栄養価により巨大化しており、親を捕獲していると思われていた個体が、実は0歳から4歳程度の子供であり、親の捕獲に至らないことが、個体数が相対的に減らない原因である。」とあった。</p> <p>捕獲されたイノシシの年齢、性別、生息域等のデータ収集を集積していくことが対策には不可欠と考えるがどうか。</p> <hr/> <p>(4) 東城町の南部地域を中心に、サルの集団による農作物被害が拡大していると聞く。</p> <p>地元の要望では、「自衛的な花火等の対策では高齢化が進んでいる現状ではままならない。山に向けて空砲でもいいので撃ってもらいたい。定期的に見回りや対策をお願いしたい。」とあった。</p> <p>サルへの被害対策はどのように考えているか伺う。</p> <hr/> <p>(5) 現在、捕獲されたイノシシの一部は、庄原有害鳥獣処理施設によって食肉加工されているが、その施設では、今後被害拡大が予想されるシカの受け入れが、施設規模の問題でできていない。</p> <p>そこで、シカの受け入れ又は捕獲処理の方針について伺う。</p>		市長	

順位	5	質問者	吉川 遂也
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 鳥獣被害防止 対策及び庄原 ジビエの積極 的なPRにつ いて	<p>(6) 庄原有害鳥獣処理施設について、年間捕獲処理頭数が増えていく中、現状の設備ですべて対応できるのか。</p> <p>また、市内の広範囲をカバーするためには、もう一か所程度の施設整備が必要ではないかと考えるが、見解を伺う。</p> <hr/> <p>(7) 庄原有害鳥獣処理施設で食肉処理されたイノシシは大変食味が良く、庄原の誇れる食材の一つとなりうると考える。</p> <p>一方で、販売店舗や食べることができる飲食店は少ない。駆除した命を無駄にすることなく最大限活用するために、積極的な取り組みが必要と考える。</p> <p>食品衛生法等一部改正により真空個別包装されたジビエも届け出によって小売店販売ができるようになっている。</p> <p>市内飲食店や小売店が庄原ジビエを仕入れる際の補助を行うことで、庄原ジビエのPRや普及に寄与できると考える。また、PR用のパンフレット等も必要と考えるが、庄原ジビエの普及についての施策を伺う。</p>		市長

順位	6	質問者	坪田 朋人
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市の学校教育における教育振興について	<p>本市において、これから将来を担うであろう子どもたちは宝であると考えます。</p> <p>その子どもたちを、学校現場において直接的に指導・育成している立場にある教職員について次のとおり伺う。</p> <p>(1) 本市における、目指すべき教職員像について考えを伺う。</p> <hr/> <p>(2) 教職員のICT環境の整備、活用が進められているが、これらは子どもたちを支援するだけでなく、教職員の支援につながることであると考えます。</p> <p>これらの活用について、本市の現状と課題、今後のさらなる活用について伺う。</p>		教育長

順位	6	質問者	坪田 朋人
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原市立学校 適正規模・適正 配置基本計画 について	<p>(1) 庄原市総合教育会議において、市長から「保護者や地域の意見をしっかり時間をかけて聞く必要がある。中学校は旧町をまたぐ広域統合となるため、期間を延長し、計画を見直す必要がある」との提案があったが、その後の取り組み、話し合いや議論などの現状と今後の計画について伺う。</p> <p>(2) 現在、実際に統合された学校があるが、教育振興基本計画に記載されているR（調査・分析）P（企画・立案）D（実施・実行）C（評価・検証）A（改善・見直し）について、現在、それらの学校では、D・C・Aにあると考えられるが、C（評価・検証）及びA（改善・見直し）について、どのように取り組んでいるか伺う。</p>		教育長

順位	7	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地域生活交通 について	<p>この11月に庄原市議会として、各地域へ『市民と語る会』として出向き、市民の皆様と意見交換を行った中で、一番多く意見が出されたのが、「地域生活交通」であった。</p> <p>本市としても、この問題を重要視し、庄原市地域公共交通計画を策定されたと認識している。</p> <p>地域生活交通は、自ら移動手段を持たない市民が日常生活を営むために必要不可欠なものであり、高齢化が進む本市にあっては今後も重要な課題で、将来にわたって持続可能な生活交通を確保する必要があると考える。</p> <p>現在、本市の地域生活交通が市民に必要なものとなっているのか、次のとおり市として の見解について伺う。</p> <p>(1) 地域生活交通に対する市民ニーズについて、どのように把握しているか伺う。</p> <p>(2) 本市における地域生活交通の課題について伺う。</p> <p>(3) 庄原市地域公共交通計画の理念と基本目標について伺う。</p>		市長

順位	7	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2. JR芸備線の 利用促進につ いて	<p>J R 西日本は利用が低迷する芸備線の一部区間について、今後の運行の在り方や利用促進策を沿線自治体や住民と協議したいとの意向を明らかにし、庄原市と新見市を結ぶ区間を対象に、広島・岡山両県の関係自治体に参加を要請した。</p> <p>地域の皆さんは、『鉄道が無くなるかも知れない』との危機意識が一気に高まっており、存続を願っている。</p> <p>市として、J R 芸備線の存続に向けた利用促進について見解を伺う。</p> <p>(1) J R 芸備線の利用促進に向けた取り組みの現状について伺う。</p> <p>(2) J R 芸備線利用促進プロデューサーの役割について伺う。</p> <p>(3) J R 備後庄原駅は、駅舎や周辺のリニューアル工事が完了し、本市の観光交流の玄関となっているが、駅舎内での観光インフォメーションが不足していると考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) J R 芸備線の存続を願う多くの皆さんの力によって、カーラッピング列車の運行が開始された。</p> <p>市としても、その有効活用について取り組むべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) J R 芸備線の利用促進についての今後の方針について伺う。</p>		市長	

順位	7	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 市役所本庁舎 前駐車場につ いて	<p data-bbox="523 416 1181 568">庄原市本庁舎の駐車場については、「駐車場に入りにくい」「駐車スペースが狭く駐車しにくい」という声を聞く。</p> <p data-bbox="523 591 1181 685">過去、何回かこの問題についての一般質問があったが、改善されていない状況である。</p> <p data-bbox="523 707 1181 860">本庁舎新築、新駐車場の設置から約13年が経過し、この間人口減少や高齢化の進行など、本市の人口構成も変化してきている。</p> <p data-bbox="523 882 1181 1034">特に、高齢ドライバーの割合が増えている状況を考えると、駐車しやすい環境を整えることが必要と考えるが見解を伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	前田 智永	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. いざなみカード(愛称なみか)の活用促進について	<p>「庄原いちばんづくり」は、地域産業、暮らしの安心、にぎわいと活力、の分野別政策で構成され、本市の最重要課題に対する基本政策として位置付けられている。</p> <p>この庄原いちばんづくりの重点事業にも掲げられている、キャッシュレス決済導入支援事業によるいざなみカードは、1万円分のポイントを付与し、市民の9割以上に配布された。本市においてあらゆる分野で活用できる画期的なものだと、報道等でも紹介された。</p> <p>多くの市民が、市内で買い物や飲食等に活用している一方で、「カードで支払いをする習慣のない高齢者にとっては、使用する機会がないため、処分しようと考えている。」などの意見もあり、早急な事業展開が求められる。</p> <p>現在、東城町を中心に、キャッシュレス事業だけでなく、高齢者・児童見守りサービスや自治振興区等での行事参加によるポイント付与などの先進的な取り組みがされているが、今後の市全域への活用促進について市長の見解を伺う。</p>		市長	

順位	8	質問者	前田 智永
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原市役所西城支所の耐震改修促進計画について	<p>平成7年1月の阪神淡路大震災では、6,434人もの方が亡くなり、直接的な死因の約9割が、家屋の倒壊や家具等の転倒による圧迫死という調査を機に、全国的に建築物の耐震改修の促進がされてきた。</p> <p>本市においても本年3月、第3期となる「庄原市耐震改修促進計画」を策定し、調査していると伺っており、防災拠点建築物として指定されている庄原市役所西城支所について伺う。</p> <p>西城支所は、建築後かなりの年数が経過しており、計画では、耐震診断の結果、耐震化に向けた計画策定を行うことが明記されている。</p> <p>また、令和7年度までに耐震改修又は建て替え、移転に取り組むとされているが、先程申し上げた防災の観点からも、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの形成のために、早急に対応すべきと考える。</p> <p>この施設の今後の対応について市長の見解を伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	福山 権二	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 公共交通について	<p>庄原市地域公共交通計画が本年5月に策定され半年が経過した。</p> <p>策定目的は、加速する本市の人口減と高齢化への対応として、生活を維持するための長期的に実現可能な地域公共交通政策を実施するため、本市の財政状況も踏まえつつ、本計画の実現のため、地域公共交通に関わる多様な主体が連携・協働して課題を共有化し、役割を分担しながら「地域の交通を守り育てる」取組を推進すると明記されている。</p> <p>このことを踏まえ、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 第2期庄原市生活交通ネットワーク再編計画実施の総括を踏まえ本計画が実施されているが、この総括を踏まえた最大の政策改善点は何か伺う。</p> <hr/> <p>(2) 公共交通政策(地域公共交通・生活交通・地域旅客運送サービス)を有効に実施するためには、地域情報を詳細に把握している自治振興区の積極的な関与が不可欠だが、本計画策定後の具体的な取り組み状況について伺う。</p>		市長	

順位	10	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
<p>1. 2050年二酸化炭素排出ゼロを目指して、地方公共団体実行計画の策定を</p>	<p>気候危機の打開は、人類の未来のかかった最重要課題である。既に気候危機の深刻な影響は日本でも表れており、自治体としての対策も求められている。</p> <p>そこで、気候危機の対策について以下の質問を行う。</p> <p>(1)地球温暖化対策推進法の基本理念に沿って、庄原市として「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明する考えはないか伺う。</p> <p>(2)地方自治体は、地球温暖化対策計画において、2030年までに地方公共団体実行計画を策定し、実施するよう努めるものとされている。</p> <p>その際、自治体自らの削減目標と区域内での削減目標の両面での取り組みが努力義務とされているが、市長の基本的な考えを伺う。</p> <p>(3)小水力・太陽光発電等は、地域に還元され、地域経済の振興に貢献する再生可能エネルギー活用として注目されており、行政がその役割を果たすことも求められている。</p> <p>庄原市では、自然条件を生かした小水力発電、太陽光発電、バイオマスの活用などが考えられるが、今後、市として重点的に促進する考えはないか伺う。</p> <p>(4)気候危機の対策について、事業者や市民への情報提供や支援窓口など市の推進体制はどのように考えているか伺う。</p>		<p>市長</p>	

順位	10	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 市長は、インボイス制度の導入中止の先頭に	<p>2023年10月から、適格請求書の保管制度（インボイス制度）が導入されることが決まり、本年の10月から「適格請求書発行事業者」の登録が始まっている。</p> <p>小規模事業者、フリーランス、シルバー人材センター会員、9割は免税業者である農業者など、インボイス制度による影響や負担はあまりにも大きいと考える。</p> <p>インボイス制度の撤回へ、行政、議会、市民あげて取り組むべき課題と考えるが、市長の見解を伺う。</p>		市長
3. この冬の緊急生活・経済独自支援について	<p>新型コロナウイルス感染症による経済の停滞、米価の大暴落による打撃、さらに寒さが増すにつれ、燃料費の高騰に悲鳴の声があがっている。福祉灯油など自治体の独自支援に「特別交付税」措置が講じられる。</p> <p>(1) 米価の暴落の営農意欲や市内経済への影響は計り知れない。それに対する市としての独自支援は考えられないか伺う。</p> <p>(2) 庄原市でも福祉灯油などの支援策が必要と考えるが、市長の考えを伺う。</p>		市長

順位	1 1	質問者	藤原 洋二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 令和4年度の 予算編成と執 行体制等につ いて	<p>令和4年度予算編成方針の下、新型コロナウイルス感染症や災害復旧対策などを踏まえた予算編成が進められているものとする。</p> <p>この予算編成においては、行財政運営の健全化を確保しながら、最大の総合行政サービスを実現する必要がある。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症対策の影響が長期化している状況からも、早期に市民生活や経済の回復が求められ、一方では、最重要課題である「人口減少対策」や最優先課題である「災害復旧」の予算計上とそれに係る執行体制を構築する必要があると考える。</p> <p>このような特殊事情を踏まえた新年度予算編成や職員配置計画などの執行体制が本市の将来像に大きく影響することから、次のことについて所見を伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策では、ワクチンの接種率が11月10日現在、12歳以上の対象者の87.1%が2回目の接種を終えている状況と聞いているが、ワクチン接種後の中和抗体量が減少する中で3回目の接種や第6波への感染拡大対策も必要と考える。</p> <p>このような中、市民生活や経済の回復のため、引き続き、切れ目のない対応が必要不可欠であるが、地方創生臨時交付金の執行状況を踏まえた市長の考えを伺う。</p>		市長 教育長

順位	1 1	質問者	藤原 洋二
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 令和4年度の 予算編成と執 行体制等につ いて	<p>(2) 平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨災害の復旧の最中、今年度も7、8月に豪雨災害が発生したことから、引き続き、最優先課題として早期復旧に取り組む必要がある。</p> <p>災害復旧を担当している建設課公共土木復旧係や農林施設復旧係の継続設置が必要と考えるが、市長の考えを伺う。</p>		市 長 教育長
	<p>(3) 本市の最重要課題である「人口減少対策」について、人口減少対策戦略本部からの提案事業の検討状況と新年度予算への計上について市長の考えを伺う。</p>		
	<p>(4) 市議会が開催した「市民と語る会」において、非常に関心が高かった「庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画」について、現在の取組状況など、市民への情報発信が不足していると思うが、教育長の考えを伺う。</p>		

順位	1 2	質問者	林 高正
項 目	質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 本市の脱炭素化に向けた取組について	<p>令和2年10月26日に行われた第203回臨時国会において、菅内閣総理大臣は、所信表明演説で、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言した。</p> <p>また、同30日に行われた地球温暖化対策推進本部において、菅総理より「2050年カーボンニュートラルへの挑戦は、日本の新たな成長戦略である」とし、地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画、パリ協定に基づく長期戦略の見直しの加速を指示している。</p> <p>そして、地球温暖化対策推進法の一部を改正する法律が令和3年6月2日に公布され、法律に位置付けられたことで、脱炭素に向けた取組・投資を促進するとし、「地域の求める方針（環境配慮・地域貢献など）に適合する再エネ活用事業を市町村が認定する制度の導入により、円滑な合意形成を促進」すると謳われている。</p> <p>本市では、「2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ」に対してどのように取り組もうとしているのか伺う。</p>		市 長
2. M a a Sに対する本市の取組について	<p>現在、東城地域2か所で「広島型M a a S推進事業」補助金を受けて実証運行事業を行っているが、M a a Sに対する本市の基本的な考えを伺う。</p>		市 長

順位	13	質問者	藤木 百合子		
項目		質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 永末保育所、 永末小学校の 今後の対応に ついて		<p>先般行われた「市民と語る会」において、地域の持続化、活性化の意見とともに、永末保育所が「小規模の僻地保育所」という位置づけのままとなっているため、地元の0歳から3歳児の乳幼児が入所できないという問題、永末小学校においては、児童数が増加したことにより、特別教室などがなくなったとの意見が出された。</p> <p>未来を担う子ども達の健全な成長を願い、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 永末小学校区内の乳幼児数が増えていると思われるが、永末保育所の園児数は減少傾向にある。</p> <p>永末小学校区域内の乳幼児数の推移の現状と永末保育所の存続について市長の考えを伺う。</p> <hr/> <p>(2) 永末小学校区の児童数が増えているが、児童数の推移と校舎の改築などの対応について教育長の考えを伺う。</p>		市長 教育長	

順位	13	質問者	藤木 百合子		
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 18歳まで国民健康保険税の「均等割」10割軽減を	<p>「子育て支援に逆行している」と軽減、撤廃を求める声が多い子どもの「国民健康保険税均等割」を、2022年4月から、未就学児を対象に5割軽減する国の制度が始まる。</p> <p>この制度を活用し、市独自で高校卒業まで10割軽減すべきと考える。</p> <p>安心して子育てを行う環境整備に向け、次のことを伺う。</p> <p>(1) 国の制度どおり未就学児を5割軽減する場合、市の対象となる人数と軽減される額はいくらか。</p> <p>また、市独自で、18歳まで5割軽減する場合と10割軽減する場合、想定される対象人数と市の財政負担はそれぞれいくらか伺う。</p> <p>(2) 安心して子育てを行う環境を整えるため、18歳まで国民健康保険税の「均等割」10割軽減に取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>			市長	
3. 18歳まで医療費助成の拡充を	<p>18歳までの医療費助成については、三次市、安芸高田市など近隣市町では既に行われているが、本市においては15歳までとなっている。</p> <p>本市においても、子育てを行いやすいまちづくりをめざし、2022年度から実施すべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p>			市長	

順位	14	質問者	赤木 忠徳	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 県内外で庄原市に貢献した人を名誉市民に	<p>(1) 庄原市には、名誉市民に関する条例があり、趣旨には「庄原市民又は庄原市に縁故の深い者で、庄原市の発展、公共の福祉の増進又は広く社会及び文化の進展に貢献し、その功績が卓絶で市民から深く尊敬されている者に対して庄原市名誉市民の称号を贈る」と定められている。</p> <p>庄原市名誉市民は、自治大臣を歴任された、永山忠則氏、広島県議会議長を歴任された、西田修一氏、中国料理店「山翠楼」を創業され皇室を始め川端康成氏、棟方志功氏など多くの文化人、政財界との交流などを通じて、比婆道後帝釈国定公園の指定に尽力された、宮田武義氏、旭化成の会長や日本商工会議所会頭を歴任された、山口信夫氏の4名が選定されている。</p> <p>名誉市民の決定は、議会の同意が必要であるが、その前段で審議会の設置するよう定められている。</p> <p>名誉市民は、市政何周年など節目に制定されがちであるが、その功績と、今後さらなる協力をしていただくためには、時を選ばず、適時、名誉市民の称号を贈ることが重要と考えるが、市長の考えを伺う。</p>	市長				

順位	14	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 県内外で庄原市に貢献した人を名誉市民に	<p>(2) 現在も、名誉市民にふさわしい庄原市出身の方が多くいらっしゃると思うが、中には既に故人となられた方もおられる。</p> <p>既に故人となられた方にも、これまでの業績に対して名誉市民の称号を贈呈することが必要であると考えているが、故人を制定することができるか伺う。</p> <hr/> <p>(3) 「名誉市民の選考は、審議会を設置し、調査審議を行う」とあるが、名誉市民にふさわしい方がおられると判断された場合、すぐにでも審議会を設置する考えがあるのか伺う。</p>		市長

順位	15	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 特定地域づくり事業協同組合制度について	<p>令和2年度より総務省では、地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業（マルチワーカーに係る労働者派遣業等）を行う事業協同組合に対して財政的、制度的な支援を行っている。</p> <p>本市においてもこの制度を活用し、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、地域内外の若者を呼び込むことができるようになるとともに、地域事業者の事業の維持・拡大を推進する事業協同組合の設立、運営の支援を行うべきと考えるが所見を伺う。</p>		市長
2. 本市の情報化、デジタル化について	<p>本年3月策定された第2期庄原市地域情報化計画について、その具現化における以下の点について所見を伺う。</p> <p>(1) 市役所内の業務における情報化、デジタル化の進捗、課題、今後の展望について。</p> <p>(2) テレビ共聴施設の維持管理における課題とその解決に向けての取り組みについて。</p>		市長
3. 学校運営協議会制度について	<p>令和2年度より庄原中学校、東城中学校の2校で試行的に設置された学校運営協議会について、これまでの成果と課題、今後どのようにすすめていくか考えを伺う。</p>		教育長

順位	15	質問者	五島 誠
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4. アウトドア施設活用促進事業について	<p>第2期庄原いちばんづくりの重点事業にも挙げられ、本年度当初予算にも計上のあったアウトドア施設活用促進事業について、「状況調査を実施し施設の活用・整備方針を定める」とあるが、進捗ならびに今後の展望について所見を伺う。</p>		市長

順位	16	質問者	松本みのり	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
1. 市内小中学校の学校給食における庄原産食材使用割合を増やす取り組みについて	<p>(1) 学校給食における庄原産食材使用割合の現状とこれまでの取り組み状況、今後の目標について伺う。</p> <p>(2) 庄原産食材活用推進にあたっての課題をどのように把握されているか伺う。</p> <p>(3) 学校給食の現場と生産現場との双方のニーズや課題を調整する、地産地消コーディネートなどを配置する考えはないか伺う。</p>	教育長				
2. 多様性や違いを認め合える社会と、自ら判断し、主体的に行動できる人を育てる生徒指導規程のあり方について	<p>(1) 全国的に、児童生徒の人権や主体性を配慮する、時代に合った生徒指導規程のあり方が模索され、児童生徒が主体となつての規定の見直しが広がりつつある。</p> <p>本市教育委員会での生徒指導規程への課題意識や考え方について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍で、洗濯のしやすい私服での登校が選択できるようになった高校もある。</p> <p>アトピー性皮膚炎や心と体の性の不一致など、さまざまな体質、性質を持つ子どもたちが安心して学校生活を送れるように、本市の小中学校においても、私服での登校を選択できるように考えてはどうか。</p>	教育長				